

実習2 電流計の使い方

目的

.....

.....

準備

☐電流計 ☐スイッチ ☐豆電球 ☐乾電池 ☐導線

方法

- ① 乾電池に豆電球とスイッチをつないで回路をつくる。
- ② 次の3点を確認しながら、回路に電流計をつなぐ。
 - (ア) 電流計は電流をはかりたい点に対して直列につなぐ。
 - (イ) 乾電池の+極側の導線を+端子に、-極側の導線を-端子につなぐ。
 - (ウ) 電流の大きさが予想できないときは、5Aの-端子につなぐ。
- ③ スイッチを入れ、豆電球が点灯していることを確認して、次の2点を確認しながら電流計の目盛りを読む。
 - (ア) 電流計の指針の振れが小さければ、500mA、50mAの-端子につなぎかえる。
 - (イ) 目盛りを読むときは、つないだ-端子に合った数値を目盛り板の正面から読みとる。

結果 電流をはかる回路のようすや、読みとった電流の値を記録する。

・回路のようす

・電流の値

使った-端子	目盛りの読みとり
50mA	
500mA	
5A	

考察

.....

.....

.....

まとめ

.....

.....